

平成28年 7月 8日
 岐阜県立飛騨高山高等学校
 国土交通省高山国道事務所

飛騨高山高校の生徒によるイタチハギ(外来生物)の防除 ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”～

- 概要 : 高山西インターチェンジ内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、ビオトープ内の在来種保護のため、生態系被害防止外来種リスト(平成27年3月発表)に掲載されている「イタチハギ」を防除します。なお、同じく生態系被害防止外来種リストに掲載されている「ハリエンジュ」は、飛騨高山高校の生徒による継続的な防除により、根絶することができました。
 また、草地性生物の生息環境維持のために草刈りを実施します。
- 日時 : 平成28年 7月11日(月) 13:30～16:00
 【雨天決行】
- 場所 : 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内
 ビオトープ“飛騨の森再生”(高山市清見町牧ヶ洞地内)
- 参加者 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生 15名
 国土交通省高山国道事務所 職員
- 添付資料 : 別紙のとおり
- 配布先 : 高山記者クラブ
- 問合せ先 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
 環境科学科 遠藤 貴史(えんどう たかふみ)
 TEL 0577-33-1060
 FAX 0577-32-8994

国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
 計画課長 奥田 清典(おくだ きよのり)
 TEL 0577-36-3822
 FAX 0577-36-3801



1. 学習内容

今年度3回目となる今回は、環境科学科2年生15名が参加して、ビオトープ内の在来種保護のため、生態系被害防止外来種リスト（平成27年3月発表）に掲載されている「イタチハギ」を防除します。また、草地性生物の生息環境維持のために草刈りを実施します。

①イタチハギの防除

北アメリカ原産のイタチハギは、密生したヤブを形成し、伐採してもすぐ萌芽して再生します。ビオトープ内の在来種と競合し駆逐する可能性があることから、イタチハギを根から掘り出し処分します。

なお、同じく生態系被害防止外来種リストに掲載されている「ハリエンジュ」は、生徒による4年間（H24～27）の継続的な防除により、根絶することができました。



ビオトープに侵入したイタチハギ



ハリエンジュ



継続的な取り組みにより根絶しました

②草地ゾーンの草刈り

ビオトープ内の草地では、ヒメシジミ、キキョウをはじめとした様々な草地性生物が観察できます。草地は草刈りなどの管理を行わないとやがて樹木が定着し、樹林にかわってしまいます。このため、草地性生物の生息環境を維持する目的で草刈りを行います。



ヒメシジミ（H27.6撮影）



手鎌による草刈り作業（H27.7状況）